

こんにちは いつもお世話になっております

# 三栄です

第63号  
発行元

株式会社  
三栄サービス  
東村山市久米川町  
1-16-5  
発行人 紺野琢生



IPSuS 0002394

## 古布(古着)の 現在の状況に ついて



新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が解除され、経済活動が戻りつつありますが、感染により謝罪している有名人のニュースを見ていると、気を付けていても感染し悪というイメージがどうしてもついて回ってしまいますし、回収業務を滞らせるわけにはいかないのです、会社として、また私個人としての自粛はまだ解除せず、注意しながら作業をし、日常生活を送っています。

さて、話は本題に移りますが、前回号では、古布の家庭備蓄を呼びかけさせて頂きました。丁度連休に入り、政府が外出自粛を呼びかけていたタイミングでしたので、お片付けをされる方が増える予測の元でPRをした次第でした。実際のところ、多くの皆様にご協力頂いたこととは思うのですが、それでも追い付かず、連休明けには、当社としては過去最高の一日一二トン(古布問屋の四トントラック約四台分)もの搬入があり、一時パシク寸前になりました。

それでも何とか古布問屋にも頑張っ取りに来てもらい、山を越えることが出来ました。五月二日には、古布の主要な輸出先であるマレーシアの都市封鎖が解除され、徐々に現地での選別作業と日本からの輸出が復活し、現在では受け入れを止めるという事とはせず流れている状況です。

但し、国内の古布問屋にはまだ大量の古布の在庫が残っていること、マレーシアで選別した古着の売り先となつている東南アジアやアフリカなどの各国でコロナが蔓延し流通が滞っていることなど、未だ不確定要素が多く、様子見の状態にあると言えます。

まとめると、現在の古布の状況は、価格は低迷しています。但し、いつコロナの第二波が来るかわからないので、一度にまとめて出すことはせず、平均的に出すということを中心に心がけて下さい。ご協力、宜しく願います。

## 業界団体の会合でリモート会議を導入しています。

当社が加盟している東多摩再資源化事業協同組合や東京都資源回収事業協同組合では、五月よりリモート会議を導入しました。

三月、四月と急遽会議を中止としたため、古紙の市況の悪化や古布の輸出停止などの諸問題を抱えている中で話し合いが出来ずに書面決議で理事会が終わってしまったことに危機感を抱き、青年部が四月にWEB総会を開催したのをきっかけに親会でもリモート開催を進めることにしました。



東多摩再資協の通常総会の様子  
少しずつグレードアップしてます

出席してもらいました。ネット環境や端末を持っていない組合員は事務局に来て頂き、密を避けるため別室のテレビから参加してもらいました。

私の親世代もいらつしやるので、リモート会議なんて出来ないんじゃないかと考えていましたが、Wifi環境とスマホかタブレット端末かPCがあれば簡単に参加できることが分かりました。実際やってみると会議も効率的で、しかもなかなか楽しいです。これはこれで良いなと思う一方、やっぱり会って話して、終わったら飲コミュニケーションを図りたいですね。